Get FloodSmart
Know your risk.
FloodSmart.gov

NATIONAL FLOOD INSURANCE PROGRAM

エル・ニーニョ：洪水リスクの増加

洪水は、米国で最も高価で最も頻繁に起こる自然災害です。毎年、洪水により住宅や店舗・ビジネスが被害を受けています。たとえ数インチの浸水であっても、何千ドルもの被害に繋がります。

災害が起こる前に、洪水による金銭的な被害を軽減することができます。まずは洪水のリスクを理解し、必要な洪水保険に加入していることを確認しましょう。

エル・ニーニョ: 大雨と洪水のリスク

米国気象庁によると、エル・ニーニョ（El Niño）とは熱帯太平洋の海洋・大気システムが乱された状態を指します。熱帯太平洋での変化は、地球上の天気と気候に重大な影響をもたらします。米国では、エル・ニーニョは通常の天気のパターンを崩し、ある地方には乾燥した天候を、別な地方には豪雨をもたらします。

米国気象庁は、今年のエル・ニーニョにより、特に米国南部の冬の降雨量が多くなると予報しています（forecasts）。これから数か月に予想される大雨は、特にこれまで干ばつが続いていた地域や、過去に山火事によって被害を受けた地域に大きな被害をもたらす洪水に繋がる可能性があります。

干ばつと山火事によるリスク

通常の植生は雨水を吸収し、傾斜地が崩れるのを防ぎます。山火事によって地面が焦がされ、裸になると雨水を吸収できなくなり、突発洪水や土砂崩れが起きやすい環境となります。植生が回復するまで洪水のリスクは高いままです。これには山火事から5年かかることもあります。

洪水に備える

この先数か月に起きるかもしれない洪水に備えるのは今です。洪水のリスクが高まる前にやっておくべきことを以下に挙げます。

- 洪水はどこでも起こりえますが、より深刻な洪水が起こりやすい地域もあります。あなた個人のリスク（personal risk）を理解しましょう。
- 加入している保険を見直し、補償対象を確認し、補償限度額が建物や所持品に見合ったものであることを確認しましょう。住宅保険は洪水による被害を補償しません。
- 未加入であれば、洪水保険（flood insurance policy）に加入しましょう。通常、保険が適用されるまでに30日の待機期間が設けられています。遅くなりすぎないように。
- 緊急事態キット（emergency kit）を作り、避難ルート（evacuation routes）を計画し、重要書類を安全で防水された場所に保管しましょう。
- 所持品を一覧表にし、写真を撮りましょう。

エル・ニーニョの詳細に関しては、**ElNino.NOAA.gov**を閲覧してください。あなた個人の洪水リスクや備える方法の詳細に関しては、**FloodSmart.gov** を閲覧するか、**1-888-379-9531**に問い合わせてください。保険に関しては、保険会社に問い合わせてください。地元のエージェントを探すには、**FloodSmart.gov** もしくは **1-800-427-2419**を利用してください。

FEMA

2015 年 11 月